



## ボランティア精神を大切に

校長 大槻 亨

令和6年度の締めくくり、3学期がスタートして早1か月が経ちました。各学年とも落ち着いた学校生活を送ることができています。

さて、今年の1月17日は、阪神・淡路大震災から30年という節目でした。あの日、多くの人々が突然の出来事に翻弄され、大きな悲しみと苦しみを味わいました。高速道路の橋脚が崩壊し、横倒しになっているという映像を見たときは、言葉を失いました。しかし、同時に、人々の温かい思いやりや互いを助け合う姿も数多く見られました。阪神・淡路大震災発生のはじめ、日本全国から多くのボランティアが駆けつけました。ボランティアの活動は、単に物資を運んだり、家屋を復旧するだけではありませんでした。被災者の方々に寄り添い、話を聞き、心のケアを行うことも重要な役割でした。被災地の中学生たちも「自分にできることは何か」と主体的に考え、ボランティアに取り組みました。彼らは、大人たちに混じって一生懸命働き、被災者の方々に勇気を与えました。この経験を通して、彼らは「人のために何かしたい」という思いを強くしたのではないのでしょうか。

ボランティアの精神は、私たちが日頃、学校生活を送る上でとても大切です。それは、「思いやり」や「協力」の心です。しかし、このような心を忘れてしまった時にいじめは起こりがちです。誰かを傷つける行為は、決して許されるものではありません。逆に、誰かを助けたり、励ましたりすることで、私たちは心の豊かさを実感することができます。

学校生活の中で、最も大切なことは、友達との関係を築き、共に成長することだと思います。しかし、残念ながら、いじめという問題が、今もなお私たちの社会からなくなりません。いじめは、誰かの心の傷となり、場合によっては取り返しのつかない結果を招くことがあります。いじめをなくすためには、一人ひとりが周りの人に優しく思いやり、助け合うことが大切です。

今の学級で過ごすのは、残り2か月足らずとなりました。これまで、様々な活動を通して、互いの絆を深めてきたと思います。それをさらに確かなものにするために、自分の言葉や行動一つ一つに気を配り、相手の気持ちを考え相手を傷つけないようにしていくことが大切です。

2月は、「ふれあい月間」として、いじめの未然防止に取り組んでいきます。阪神・淡路大震災から30年というこの時に、防災の意識を高めると同時に、ボランティアの大切さを今一度思い起こし、ボランティアの精神を胸に、思いやりの心をもって、皆で協力してより良い学校生活を築いてほしいと思います。

◇◇ 2年生のスキー移動教室について ◇◇

1月15日(水)から17日(金)まで、2年生のスキー移動教室を実施しました。

2泊3日で短いスキー実習でしたが、初日に全く滑れなかった生徒たちが、2日目にはリフトに乗ってスイスイ滑れるようになり、その成長ぶりには驚かされました。これもできないことを挑戦しようとする姿勢があればこそその成長だと感じました。



イングリッシュキャンプに参加していない生徒にとっては、中学校生活で初めての宿泊行事となりました。それだけに思い出深いものになったと思います。この3日間、寝食を共にし、普段の学校生活では経験できない体験をし、いつもとは違う集団生活の中で、規律やチームワークの大切さを学ぶ絶好の機会となったのではないのでしょうか。スキーの経験がある人も初めての人も互いに励まし合いながら滑る経験を通して、一人では成し得ない達成感や連帯感を味わうことができたと思います。

今の学級で過ごすのは残りわずかとなりました。これまで様々な行事を通して学んできたやさしさや思いやり、そして、協力する気持ちをこれからも大切にして、新しい学年のスタートをきってほしいと思います。

◇◇ 生徒名簿等個人情報の取り扱いについて ◇◇

本校では、新年度に生徒名簿を配付し、学級構成をお伝えしております。配付する名簿には、氏名・学年・学級・出席番号を記載しております。これは、新学期に生徒自身が学級構成を確認するとともに保護者の皆様に対しても学級構成をお伝えすることが必要と考えているためです。この他、校外学習や宿泊行事・学級等での班編成など学校の様子をお伝えすることなどは、学校と家庭の円滑な連携を図るとともに教育活動上必要な情報提供と考えております。詳細は、保護者会でご説明させていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

大泉中生の活躍

1	個人	練馬区中学校読書感想文コンクール	佳作	藤畠 奏一朗
2				秋本 双葉
3	サッカー部	2024年度 クリスマスカップサッカー大会	優勝	
4			優秀選手賞	神立 泰佑
5	バドミントン部	令和6年度練馬区中学校バドミントン1年生大会	男子シングルス 第2位	赤代 有
6			男子ダブルス 第2位	塩見 颯希也
7				早坂 翼